

東根 東桜学館のサークル、ルワンダに送る

文房具が つないだ絆

同国出身 NPO法人理事長と交流



永遠瑠マリリスさん(左)から子どもたち
による感謝のメッセージを受ける東桜学館の生
徒たち
|| 東根市・同校

東根市の中高一貫校・東桜学館(官宏校長)の生徒によるボランティアサークル「3pieces」(深瀬萌心代表)が、使わなくなった文房具をルワンダに送る活動を繰り返し広げていることを受け、同国出身でNPO法人「ルワンダの教育を考える会」の永遠瑠マリリス理事長(福島市)が11月19日、同校を訪れ、生徒らと交流を深めた。

同サークルは中学と高校の生徒約30人で構成。海外の子どもたちのために、3〜4月に東根市のイオン東根店で、不要な文房具を持ってきてくれた人にバルーンアートを作ってプレゼントする活動を展開するなどし、段ボール箱で10箱分の

内陸



新庄支社 022333(2)3580 東根支社 02237(4)37333
尾花沢支社 02237(2)0165 寒河江支社 02237(8)4241
村山支社 02237(5)2532
地域の情報をお寄せください

文房具を集めた。

文房具は東根市さくらんぼ国際交流協会(高橋京子会長)、東根ロータリークラブ(RC)、斉藤文四郎会長、東根中央RC(高橋和春会長)の協力を得て9月に現地に発送した。

交流会には同サークルの生徒4人と3団体の各会長らが出席。マリリスさんは母国で起きた内戦の経験や現状を説明しながら

「私自身、教育を受けたことで人生が違ったと思っている。子どもたちには子どもたちらしい人生を送ってほしいし、そのために教育環境を整えたい」と語った。「新型コロナウイルス禍など暗い話題が続く中

でみなさんの思いや、つながりが生まれたことがすごくうれしい」とし、子どもたち直筆の感謝のメッセージを紹介した。

深瀬代表は「どのような活動ができるか悩んだこともあったが、これからも地域と世界をつなぐボランティア活動を続けたい」と話した。今後は現地とのオンライン交流などを計画するという。(小林達也)